

【空知管内】 図書館司書経験者による読書環境の充実いちやん（深川市立一已小学校）



司書有資格職員による読書環境の整備充実と相談対応

一已小学校では、今年度から市のモデル事業として、市立図書館の司書経験を有する教育委員会職員が週1回来校し、学校図書館を授業や行事等に有効に活用することができるよう環境整備を進めています。例えば、運動会前には速く走るコツがわかる本、夏には昆虫や花火の図鑑、読書週間（10月27日～11月9日）にはハロウィンの本等、時節に合わせた本の紹介コーナーを設置しています。

また来校日には、児童からの本に対する質問等にも対応しています。

児童も参加する学校図書館の運営と利用の拡大へ

写真のハロウィンの飾りは、司書や図書担当教諭からの提案で文化委員の児童が作成し、魅力ある学校図書館の運営に児童が参加する取組を進めています。

このほか深川市では、低学年を対象とした読み聞かせパフォーマンスの公演や、市立図書館からの学級文庫用図書「マナビ文庫」、授業利用図書の貸出等により、児童の読書に対する興味・関心を高められるよう市全体で子どもの読書活動の充実に取り組んでいます。



【オホーツク管内】 学校図書館活用に向けた組織的な取組（斜里町）



オンライン研修の様子

司書教諭による組織的な読書活動促進のための研修会

斜里町教育課程検討委員会では、児童生徒の「読む力」の定着を目指し、“行列ができる学校図書館”として取り上げられた実績のある恵庭市立和光小学校司書教諭 井上陽子氏を講師に招いてオンライン研修会を実施し、町内の小中義務教育学校の教諭と学校巡回司書が参加しました。児童の発想による「オリジナル鳥獣戯画」、テーマ毎に本を薬に見立てて紹介する「本の処方箋～読む薬」の取組など、児童生徒に寄り添いながら、本に親しむための工夫を数多く紹介していただき、読書活動を促進させるための方法について全教諭で共有しました。

学校と町立図書館学校巡回司書との連携

斜里町では、町立図書館内に「学校図書館支援センター」を設置し、学校図書館と公立図書館が連携して読書活動の促進に取り組んでいます。

学校巡回司書が町内各校を週1回訪問し、掲示物の作成や新聞コーナーの整備等の読書環境整備や本の読み聞かせを行うなど、児童生徒が学校図書館を活用する様々な場を提供しています。



巡回司書による環境整備